

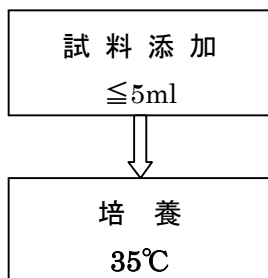
SCDLP 一般細菌用 SensiMedia 使用説明書

マイクロバイオ株式会社

1. 特徴

この SensiMedia は、SCDLP 液状培地を採用したもので、医薬品・化粧品中の防腐剤を不活化し、製剤検体中の一般細菌を迅速に検出できるようにしたものです。

2. 検査の手順



試料添加

SensiMedia のキャップを開けて、試料を ≤5ml 添加します。キャップを締めて、インキュベーターに入れます。

培養温度

35℃で培養してください。

3. 判定基準

標準菌株による特性は下図に示すとおりですので、試料及び危惧される菌を用い、これを参考にプロトコル時間を設定してご使用ください。60 時間程度経過後でもセンサーが青色のままであれば、一般細菌（カビを除く）は通常 陰性と判断できます。陽性のときは、センサーは、黄色透明になります。

